

## 第6学年国語科学習指導案

児童 6年1組 男子19名 女子10名 計29名  
指導者 藤田 聖子

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう  
教材名 「平和のとりでを築く」(説明文)

### 2 児童と単元について

#### (1) 児童について

この学級の児童は、1学期の説明文「生き物はつながりの中に」の学習において、筆者の主張を読み取り、それに対する自分の意見を考え、意見文にまとめる学習を行った。

筆者の主張を読み取る場合には、文章構成を考え、筆者の意図に沿って要約するという方法を学んだ。文章構成をつかむには、問いと答えの段落に気を付け文章全体を見て読み取ること、段落の中心文をとらえ段落の役割を読み取することを学習した。筆者の意図に沿って要約するには、主張の段落をつかみ、その中心文をとらえることで筆者の一番伝えたいことをとらえるということを学習した。

また、筆者の主張に対する自分の考えをもつ場合には、筆者が考えを説明するために挙げた事例を詳しく読み取り、経験や知識から自分の考えをまとめるという方法を学んだ。

しかし、これらの方法が全ての児童に身につけているとはいえない。事後テストの結果では、文章の大まかな構成をとらえることや、筆者の主張を要約することの力がまだ十分ではない。

更に、自分の意見をもつ場合に、書かれていることを自分のこととして考えをめぐらせることが難しく、表面的な読みで終わってしまっている児童も多く見られた。

そこで、本単元の説明文を読み取る学習においても、今まで学んできた学習の方法を確認することで、筆者の主張を読み取り、自分の考えをもつことのできる確かな力をつけていくことが必要だと考える。

#### (2) 単元と教材について

本単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」は、筆者の考え(要旨)をとらえ、平和や戦争について自分の考えをもち、その考えを伝えることをねらいとしている。

教材文「平和のとりでを築く」は、おそろしい原爆の被害を象徴する原爆ドームの、建造から世界遺産として指定されるまでの流れを紹介することを通して、「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」という主張を読者に投げかけている。

全文は13段落で構成されており、大きくは「原爆ドームに対する筆者(わたし)の思い」「原爆ドームがたどった歴史」「世界遺産への道のり」「まとめ」という4つのまとまりからなっている。冒頭の段落で「わたし」という語り手として、原爆ドームへの思いを語った後、原爆ドームのたどってきた歴史を時間の流れに沿って説明する。そして再び「わたし」の立場から原爆ドームが世界遺産であることの意義について語り、まとめるという構成の工夫がみられる。また原爆ドームの叙述が「建造物」「世界遺産」「記念碑」「世界の遺産」などと変化していき、読者に原爆ドームの存在価値を、読み進めるにしたがって認識させるような工夫もとられている。それらの工夫は筆者の立場を明確にし、原爆ドームが「世界の遺産」であることを読者に強く訴えかけてくる。

筆者の主張が明確に述べられているので、「平和」「戦争」という今日的な重要な問題に対して、児童が、自分の考えをもつことのできる価値ある教材と考える。これまでの説明文の学習で身に付けてきた力を生かしながら、筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えをもたせる学習を行っていきたい。

(3) 付けたい力と読みの方法 【付けたい力】 読みの方法  
【筆者の主張を読み取る力】

事実の段落と意見の段落を区別し、文章構成を考える。  
・主語 ・文末表現

筆者の主張を読み取るためには、それがどの部分に書かれているのかということをつかまなければならない。そこで、まず文章の構成を考えさせる。その場合、段落毎に事実を述べているのか、筆者の意見を述べているのかを、主語や文末表現、述べている内容などから判断させる。さらに、筆者の意見を述べている段落が、はじめとおわりにあることから、はじめ・中・おわりの大まかな文章構成をとらえさせる。文章構成に着目して考えれば、筆者の主張がとらえやすくなることを確認したい。

筆者の意図に沿って要約し、その意味を考える。(要旨的要約)  
・文末表現による主張の確認 ・叙述の変化 ・題名

今回行う要約は、要旨を捉え、筆者の考えを要約する「要旨的要約」とする。そこで、要約の際には、主張の段落を取り上げる。段落の中の主張を捉える際には、「である」「なのだ」という文末表現に着目させ、筆者の一番伝えたいことを述べている文をとらえさせる。その上で、段落と段落の中心文の関わりに気を付けさせながら要約文を考えさせる。

さらに、筆者の思いが、原爆ドームに対する叙述の変化や、原爆ドームの保存を願う人々の広がりといった述べ方の工夫、ユネスコ憲章の引用、題名と最終段落の文の呼応といったことにも表れていることに気づかせ、その思いの高まりを読み取らせたい。

そして、筆者の伝えたいことが「平和のとりでを築く」という題名に表されていることから、その言葉の意味について話し合うことを通して筆者の思いを読み取らせたい。

【筆者の主張に関連させて自分の考えをもつ力】

筆者が考えを説明するために挙げていることを詳しく読み取り、それに対する自分の考えをまとめる。

筆者は、伝えたいことを説明するために、中の部分で原爆ドームがたどった歴史と世界遺産になるまでの道のりについて述べている。それぞれについて詳しく読み取る活動を取り入れ、自分が感じたことや考えたことを書きまとめる。そうすることで、自分の意見の蓄積ができ、まとめの意見文を書く場合に生かすことができると考える。

また、友達と考えを交流し合う活動を取り入れる。これは、説明文の前単元の学習で、書かれていることを自分のこととしてとらえることが難しく、意見も浅いままの児童が見られたためである。友達との交流を行うことで、経験や知識の乏しい児童にも意見をもつためのより多くの材料をもたせたいと考える。

さらに、平和や戦争、原爆、世界遺産等の本教材文に関わる本との並行読書を行うことで、自分の考えを深めたり、高めたりすることの一助としたい。

これらの活動を行うことで、自分の考えも深まり、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる活動につながると思う。

### 3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	教材文を通して、平和について考えを深めようとする。	・教材文を読んで、筆者の主張に対する自分の考えを深めようとしている。
読む能力	文章の構成や表現から要旨をとらえることができる。 読むことイ 筆者の主張について自分の考えをもつことができる。 読むことエ	・文章の構成や表現から、要旨をとらえている。  ・筆者の主張をとらえ、自分の考えをまとめている。
言語についての 知識・理解・技能	段落と文章全体との関係をとらえ、自分の考えを主張するための文章の構成を理解することができる。 言語事項オ（ア）	・段落と文章全体との関係をとらえ、自分の考えを主張するための文章の構成を理解している。

### 4 単元の指導計画と評価規準

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解
見 通 す	1	単元名、リード文から単元全体の学習のめあてをとらえ、筆者の意見に対して自分の考えを意見文としてまとめることを知る。		単元のねらいについて理解し、単元の見通しをとらえている。 (発言・ノート)	
	2	全文を通読し、大体的内容をつかみ、初発の感想を書く。 難意語を調べる。	教材文を進んで読み、感想を書こうとしている。 (ノート)		
	3	読みの方法を検討し、学習の計画をつかむ。	今までの学習を振り返り、今後の学習の仕方に生かせそうな方法を考えようとしている。(発言)		
深 め る	4	各段落が、意見・事実が書かれているかを考え、大まかな構成をつかむ。		事実の段落か意見の段落かを考えて文章構成をつかんでいる。 (発言・ノート)	段落の役割を理解して、文章構成を考えている。 (発言・ノート)
	5	人々の原爆ドームに対する思いを読み取り、自分の考えをまとめる。	原爆ドームがたどった歴史や世界遺産に登録されるまでの道のりについて興味をもち、自分の考えをもとうとしている。 (発言・ノート)	原爆ドームの保存に対する人々の思いを読み取り、永久保存されることに対して自分の考えをもっている。 (発言・ノート)	

	6	原爆ドームの世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、自分の考えをまとめる。		原爆ドームが世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、選ばれたことに対して自分の考えをもっている。 (発言・ノート)	
	7	筆者の主張をとらえ要約する。	筆者の主張をふまえながら、要約文を書こうとしている。 (ノート)	文末表現や叙述の変化から筆者の主張をとらえ、要約文を書いている。 (ノート)	
	8 本時	題名に込められた筆者の思いを読み取る。		題名に込められた筆者の思いを読み取っている。 (発言・ノート)	
ま と め る	9	筆者の主張に対する意見文を書く。	筆者の主張に対する自分の考えをもち、書き表そうとしている。 (ノート)	筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 (ノート)	

## 5 本時の指導 ( 8/9 )

### ( 1 ) 本時の目標

「平和のとりでを築く」という題名から、そこに込められた筆者の思いを読み取ることができる。

### ( 2 ) 本時の評価の観点と具体的評価規準

観点	具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手立て
読む能力		筆者の主張の意味を考え、伝えたいことはどういうことなのか深く読み取っている。 例)筆者はなぜ「平和のとりでを築く」という言葉を使ったのか。それは、戦争が人の心の中の憎しみや怒りなどからすぐに起こるものであるから、平和を守るためには、戦争は絶対にしてはいけないという強い気持ち、意志を一人一人がもっていないてはならないということを、強固な守りという意味の「とりで」という言葉を使って読者に訴えたかったからだ。	筆者の主張の意味を考え、伝えたいことはどういうことなのか読み取っている。 例)筆者はなぜ「平和のとりでを築く」という言葉を使ったのか。それは、戦争は人の心の中で起こるものだから、人の心に平和を守るというとりでを築かなければならないということを伝えたかったからだ。	友達の考えを聞きながら、言葉の意味を具体的にとらえさせる。

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 評価
見 通 す  5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>筆者はなぜ「平和のとりでを築く」という題名にしたのだろう。</p> </div> <p>3 読みの視点を確認する。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">題名</span></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習が単元のめあてのどこにつながるのかを確認する。</li> <li>・     の段落からまとめた要旨を確認する。</li> <li>・ 題名と同じ言葉が要旨の中にも使われていることに気づかせる。</li> <li>・ 題名には筆者の思いが表れているのだから、それを検討することで筆者の思いに迫っていくという課題に結びつける。</li> </ul>
深 め る	<p>4 学習場面を音読する。</p> <p>5 課題に対して自分の考えをもつ。            (1) 大切な言葉の意味について考える。                筆者はなぜ、「平和」と「とりで」という言葉を使ったのでしょうか</p> <p>「戦争は人の心の中で生まれる」とはどういうことでしょう。</p> <p>(2) 自分の考えをもつ。                二つの観点について自分の考えを書きましょう。</p> <p>(3) グループ、全体で考えを交流する。                グループで考えを交流しましょう。</p> <p>全体で考えを交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「とりで」は攻めてくるものから守るためにあるのだから、「平和」を脅かすものから平和を守る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段落を音読させる。</li> <li>・ 大切な言葉についての疑問を投げかけることで、考えをもつときの手がかりとさせる。</li> <li>・ 戦いのイメージをもつ「とりで」という言葉をあえて使っていることから、筆者の平和を守りたいという強い願いに気づくことができるようにするために、言葉の意味を確認する。</li> <li>・ 「築く」という言葉にもふれるようにする。</li> <li>・ 戦争は遠い世界のことでなく、いつでも身近に起こる可能性があること、今でも起こっていることに気づくことができるようにする。</li> <li>・ 自分の心の中で起こる思いについても考えさせ、だれでももっている心だということに気づかせる。</li> <li>・ 観点をはっきりさせて書くことができるように、学習シートを用いる。</li> <li>・ グループで考えを交流することで、自分の考えを確かなものにしたり、友達の考えのよさに気づいたりできるようにする。</li> <li>・ 全体で話し合うことで、より多くの友達の考えに触れ、自分の考えを深めたり、より深い考えに気づくことができるよう</li> </ul>

35分	<p>ということ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とりで」は強固な守りだから、人の心の中で起こる戦争から「平和」を強く守っていききたいということ。</li> <li>・平和を守ることは簡単にできることではない。</li> <li>・戦争は人の心の憎しみや欲望からすぐに起こるから、いつもがんばって平和を守っていかなければならない。</li> </ul> <p>6 自分の考えをまとめる。      筆者はなぜ「平和のとりでを築く」という題名にしたのか、話し合ったことを考えながら、自分の考えをまとめましょう。</p>	<p>にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えが深まらない場合は、それぞれの言葉を、他の言葉に置き換えたらどうなるか考えさせるような発問をする。</li> </ul> <p>筆者の伝えたいことを読み取り、自分で書き表してまとめている。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表させ、友達の考えのよさに気づかせる。</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<p>7 まとめ音読をする。</p> <p>8 今日の学習について振り返る。</p> <p>9 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落を指名読み。</li> <li>・課題とまとめの確認をする。本時の学習と単元のめあてのつながりを確認する。</li> <li>・今日の学習で取り上げた読みの方法は有効だったか確認する。</li> <li>・次時の課題を書かせることで、次の時間の学習への意欲をもたせる。</li> <li>・本時でふれた友達の良い考えも取り入れて意見文をまとめてよいことを話す。</li> </ul>

(4) 板書計画

<p>平和のとりでを築く 大牟田稔</p>	<p>要約文</p>	<p>視点：題名</p>	<p>とりで 戦い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和を強く守りたい。</li> <li>・平和は簡単には守れない。</li> <li>・戦わなければ守れない。</li> </ul>	<p>戦争は人の心の中で生まれる 今も・自分の心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憎しみや怒り、欲望</li> <li>・思い通りにならない時に</li> <li>・誰でももっている心</li> <li>・簡単に戦争が始まる</li> </ul>	<p>なぜ「平和のとりでを築く」という題名にしたのか。それは、</p>
---------------------------	------------	--------------	--	---	-------------------------------------